

株主各位

アルプス電気株式会社

## 第74回定時株主総会の質疑応答要旨について

拝啓 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成19年6月27日(水)、第74回定時株主総会を開催し、総会の中で、3名の株主様からご質問・ご提言をいただき役員一同がご回答いたしましたので、その要旨をお知らせいたします。

敬具

### 記

(質問要旨) 利益が同業他社に比べて少ないと思う。集中と選択が行われていないのではないのでしょうか。特にスイッチやボリュームという小さくバラエティーの多い製品は利益が出ていないのではないのでしょうか。

(回答要旨) 電子部品会社では、京セラさんはセラミックを中心に、村田さんは誘電体を使ったコンデンサ関連、TDKさんはフェライトを中心とした磁気関連と特徴ある仕事をしています。アルプスは、他と同じことをやるのではなく、メカトロニクス、高周波技術、薄膜技術など、これまで培ってきた技術を中心に特徴あるビジネス商品を伸ばして行きたいと考えます。これまでもそのような選択と集中を繰り返し行ってまいりました。スイッチなどバラエティーが多過ぎて利益は出ていないのではとのご指摘がありましたが、このコンポーネント事業は、近年、売上を伸ばすと共に、他事業より利益率の高い事業に成長してきました。2008年3月期は、まだGMRヘッドの影響が残りますが、2009年3月期に向かって強く回復できるよう努力してまいります。

(質問要旨) 為替が変動しているが、為替の影響は1円につき、いくらでしょうか。

(回答要旨) 前年度の実績ベースでは、1円当りの1ヶ月の影響は0.5億円くらいです。ただ、過去より、為替変動に左右されない体質づくりを進めてきました。円建て取引・外貨建て購入の拡大などを進めたことから、過去に比べて、為替の変動に振り回されることは少なくなったと考えています。

(質問要旨) TDKへの HDD 用 GMR ヘッド資産の譲渡が交渉中であるが、決裂することはないのでしょうか。

(回答要旨) 両社で積極的に交渉を継続しており、また、両社の合意だけでなく監督官庁等の認可も必要です。現時点で決裂する可能性は低いとご理解いただきたく、今後も鋭意努力してまいります。

(質問要旨) 本社建替の費用の総額はどれぐらいでしょうか。またその計上時期はいつ頃でしょうか。

(回答要旨) 第1期・第2期工事に分れ、2010年3月頃に完了する予定です。建築関係の支払いは、着手金・中間金・引き取り時の3回に分けて行われ、1/3ずつ計上します。建替費用の総額は100億円弱と考えております。建築費自体は50～60億円くらいです。

(質問要旨) 今期の業績について教えていただきたい。

(回答要旨) 今期は、電子部品事業が低迷いたしますが、昨年並あるいはプラスアルファを目指しております。ご期待いただけるのは、来期と考えていただき、しばらくご心配をおかけしますが、今期頑張っております。

以上